

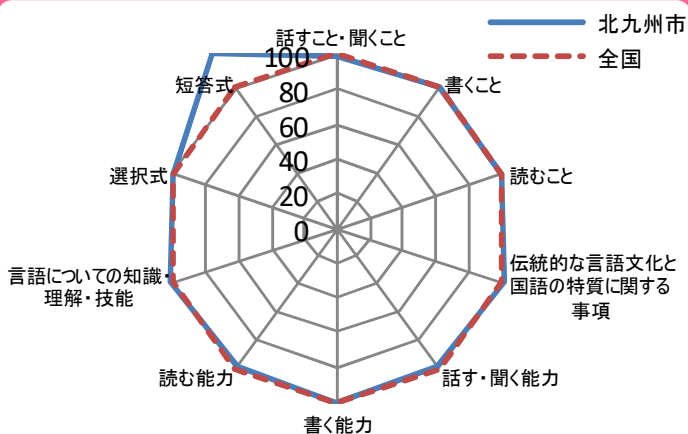
【各教科の分析】



(4) 各教科の分析結果

小学校国語A(知識に関する問題)

領域・観点・問題形式別平均正答率の状況

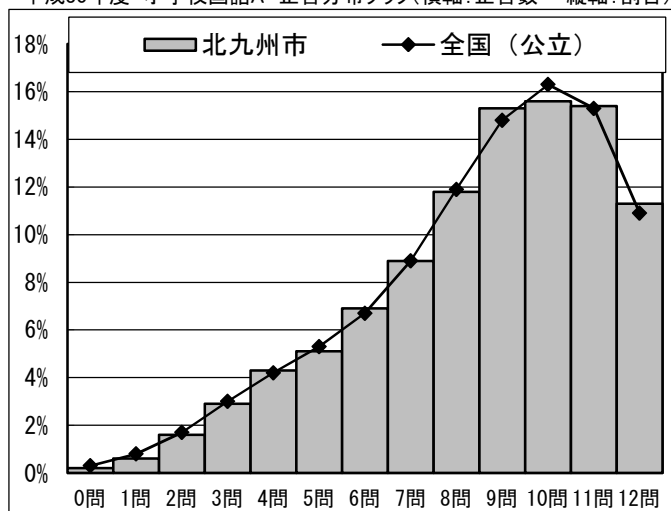


- ◇ 各領域及び観点別の平均正答率の全国との差は、 $-0.7 \sim +0.7$ と、全国平均と同程度だった。
 〈昨年度： $-0.9 \sim -0.4$ 〉
- ◇ 短答式の平均正答率の全国との差は、 $+8.5$ と、全国平均を上回った。
 〈昨年度： -1.1 〉

正答数分布図

学力の分布は、正答数の多い側に集中した山型である。

平成30年度 小学校国語A 正答分布グラフ(横軸:正答数 縦軸:割合)



- 全国、北九州市ともに、10問正解の児童の割合が最も多い状況である。

小学校国語Aで成果があった問題

【文の中における主語と述語との関係などに注意して、文を正しく書くことができるかどうかをみる問題】

○ 反省点は、用具の手入れをあまりしなかったことです。

× 反省点は、用具の手入れをあまりしませんでした。

【問われている力】

○ 主語と述語との関係などについての理解
 文を読み返し、主語と述語の照応を考えて書く

【正答例】

反省点は、用具の手入れをあまりしなかったことです。

5 大山さんは、春休みの出来事について文章を書いたあと、読み返して、……部と……部とのつながりが合っていない文があることに気づきました。次の「春休みの出来事の一部」をよく読んで、あとの(問い)に答えましょう。

【春休みの出来事の一部】 文のはじめにある数字は、その文の番号を示しています。

①ぼくは、校庭で野球の練習を毎日がんばりました。その努力は見事に実りました。②ぼくたちのチームは、地区大会で優勝したので、③今年の春休みは、とてもじゆう実したものであります。でも、反省していることもあります。④反省点は、用具の手入れをあまりしませんでした。これからは、練習だけではなく、用具の手入れもしっかりがんばりたいと思います。

【問い】 ……部と……部とのつながりが合っていない文の番号を、①から④までの中から一つ選んで書きましょう。また、……部はそのままにして、文の意味が変わらないように、選んだ文を正しく書き直しましょう。

※解答は、解答用紙に書きましょう。

選んだ文の番号……

4 【正答】

書き直した一文

北九州市正答率	44.0%	北九州市無解答率	1.7%
全国正答率	35.5%	全国無解答率	3.9%

【参考】類題 H27(2二)
 北九州市正答率 69.1% (全国71.7%)

文中の主語をとらえ、述語の部分の照応させて書くことについて、改善が見られます。

【さらなる定着を図るための学習活動例】

- 様々な場面で、意識して書いた文章を読み返す活動を行い、習慣付ける。
- 主語と述語が整った文で話すなど、日常の言語環境を整える。
- 学力定着サポートシステムなどを活用し、定着を図る。

小学校国語Aで課題があった問題

【目的に応じて、必要な情報を捉える問題】

何のために、何について調べるのかを明確にし、どのように読むのかを工夫する。

「オムレツをうまく作るために、オムレツのページ」を読み返す。

- 1 「材料」の分量を正確に読む。
- 2 文章全体の内容を表す大きな見出しを読む。
- 3 「作り方」の中から必要な内容を探しながら読む。
- 4 絵と文章を結びつけながら読む。
- 5 「ポイント」に書かれた内容に着目して読む。



（問い） 山本さんと川上さんは、オムレツをうまく作るために、「オムレツのページ」をもう一度読むことにしました。二人はそれぞれ、どのように読めばよいですか。最も適切なものを、次の1から5までの中からそれぞれ一つ選んで、その番号を書きましよう。

「オムレツを作ったあとの感想」

「作り方」のとおり、卵を溶きほぐしたのに、黄色いきれいなオムレツにならなかった。次は白いところが残らないようにしたいな。少しこけてしまったから、今度はこげないようにしたいな。どこに気をつけたらよいのだろう。

川上さん 山本さん

【オムレツのページ】

ふんわりやわらか
オムレツ
(調理時間約10分)

材料 (一人分)

卵……………2個
バター……………5グラム
塩……………少々
こしょう……………少々

作り方

- ボウルに卵を割り入れ、溶きほぐし、塩、こしょうで味つけをする。
- 直径18cmほどの小さめのフライパンを強火にかけ、温まったら弱火にしてバターを入れる。バターが溶けきる前に卵を一気に流し入れる。
- フライパンを前後に動かしながら、ざいばして円をえがくように手早く混ぜる。このとき、火が入り過ぎないように、ときどきフライパンを火からおろす。
- 表面が半熟状になってきたら、フライパンの手前側の卵を向こう側へ折り返す。
- 向こう側の卵を手前に折り返す。
- 卵のどじ目が下になるようにお皿に移したらでき上がり。

ポイント

- 卵をよく溶きほぐすためには泡立て器を使うのがコツ。黄身と白身がよく混ざり、でき上がったときにむらがありません。
- フライパンに卵を入れるときにチーズを入れると、チーズオムレツを作ることができます。

3 山本さんと川上さんは、「オムレツのページ」を読み、家でオムレツを作りました。次の「オムレツのページ」と「オムレツを作ったあとの感想」をよく読んで、あとの（問い）に答えましよう。

北九州市正答率	72.0%	北九州市無解答率	0.1%
全国正答率	73.9%	全国無回答率	0.2%

川上さんの「こげないようにしたい」という目的に応じた必要な情報をとらえていない誤答が多くみられました。「こげないようにしたい」という目的と「強火」「弱火」等の火に関する内容とを関係付けてとらえることができていることが原因の一つとして考えられます。

【さらなる定着を図るための学習活動例】

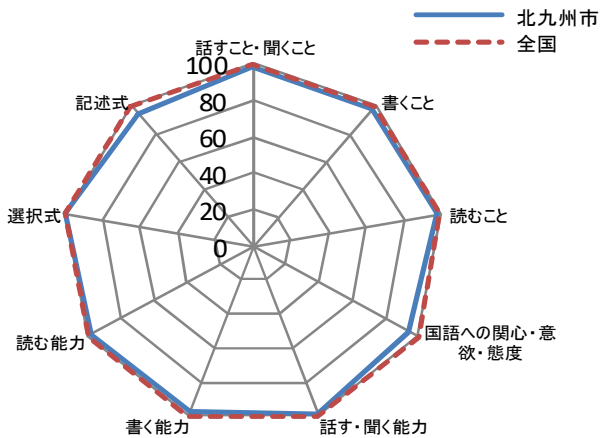
- 「何のために調べるのか」「何について調べるのか」を具体的にするための、自分の活動を振り返る活動。
- 目的に応じて、図鑑や事典、説明書、インターネットの記述などから、「目次や索引、見出しに着目して読む」、「キーワードを見付けながら読む」、「図表と結び付けて読む」など、必要な情報を見付けて読む活動。

今後の取組の方向性

<目的に応じて必要な情報をとらえて読む力の育成について>

- 国語科で身に付けた、図鑑や事典から必要な情報を得るための方法を、他教科等の学習で生かすことができる機会を低学年の段階から意図的に設定していくことが大切です。
- 調べる学習を積み重ね、子どもがその有用性を実感できるようにしていきましょう。

領域・観点・問題形式別平均正答率の状況

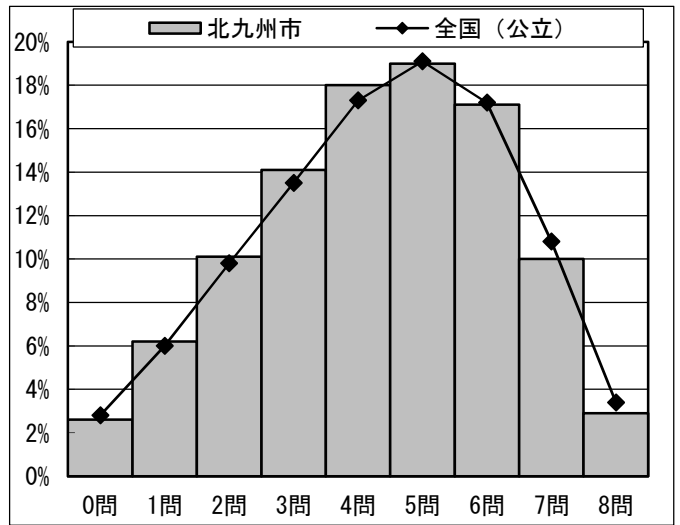


- ◇ 各領域及び各観点別の平均正答率の全国との差は、 $-1.8 \sim -0.8$ と、全国平均と同程度だった。
〈昨年度： $-0.2 \sim +0.3$ 〉
- ◇ 「記述式」の問題の平均正答率の全国との差は、 -1.8 と、全国平均と同程度だった。
〈昨年度： -0.2 〉

正答数分布図

学力の分布は、正答数の多い側によった山型である。

平成30年度 小学校国語B 正答分布グラフ(横軸：正答数 縦軸：割合)



○ 全国、北九州市ともに、5問正解の割合が最も多い状況である。

小学校国語Bで改善が見られた問題

【話し合いにおける参加者の発言の意図として、適切なものを選択する問題】

- 発表の中で自分が聞きがしたことをもう一度聞くため。
 - 相手の考えの中で最も伝えたいことをたずねるため。
 - 相手の考えとその理由のつながりを明らかにするため。
 - 具体的な例がほかにもあるかを確認するため。
- 【正答】 4

★木村 小池さんに質問があります。時代によって使われ方が変わった言葉は、「全然」以外にどのようなものがありますか。

【話し合いの様子の一部】

田中 自分たちの言葉の使い方を直すために、今日は「生活の中で使っている言葉はみだれている」ということで、三人の代表の人に考えを発表してもらいます。そして、その意見を聞いて、自分自身から言葉を使う上で、よくないかについて意見を話し合います。考えていきましょう。それでは田中さんから、発表をお願いします。

北川 私は、言葉はみだれていると思います。調べてみると、本来の意味とは異なる使われ方をしている言葉があることが分かったからです。文化庁の「国語に関する意識調査」では、「役不足」という言葉について、「本人の力量に対して役目が軽すぎる」という本来の意味を知らない人は四十一、六パーセントでした。半数以上の人は、本来の意味とは異なる使われ方をしているようです。

小池 私も、言葉はみだれていると思います。なぜなら、言葉が省略して話す人が多いからです。例えば「今年もよろしくお願ひします」「ごとうごとう」と言うことがあります。省略すると相手や場合に合っていない言葉になったり、意味が分からなくなったりすることがあると思います。

田中 私は、言葉はみだれていないと思います。例えば、「全然」は「全然ない」というように、あとに打ち消しの言葉がくるときに使うことが多いのですが、最近では、「全然いい」という使われ方もあります。また、辞書によらず、あとに打ち消しの言葉に際限のない時もあると思います。このように、時代によって言葉の使われ方は変わります。今までは打ち消しをしない使われ方もありますが、時代によって使われ方が変わりました。例えば、「全然」以外にどのようなものがありますか。

★木村 小池さんに質問があります。時代によって使われ方が変わった言葉は、「全然」以外にどのようなものがありますか。

小池 例えば、「見られる」という言葉が、「見られる」という意味で使われています。私たちが「見られる」という意味で使っていますが、辞書には、「本来的な意味とは異なる使われ方をしている」というように使われています。田中さんは、本来的な意味とは異なる使われ方をしていると言っています。北川さんは、言葉の省略によって使われ方が変わっていると言っています。三人の意見について、みなさんはどう考えますか。

金子 田中さんが話したように、打ち消し言葉はみだれていないと思います。本来的な意味とは異なる使われ方をしている言葉は、時代によって使われ方が変わります。例えば、「全然」以外にどのようなものがありますか。

青木 本来的な意味とは異なる使われ方をしている言葉は、時代によって使われ方が変わります。例えば、「全然」以外にどのようなものがありますか。

田中 田中さんは言っています。時代によって使われ方が変わった言葉は、「全然」以外にどのようなものがありますか。

田中 田中さんは言っています。時代によって使われ方が変わった言葉は、「全然」以外にどのようなものがありますか。

北九州市正答率	82.2%	北九州市無解答率	0.2%
全国正答率	82.5%	全国無回答率	0.4%

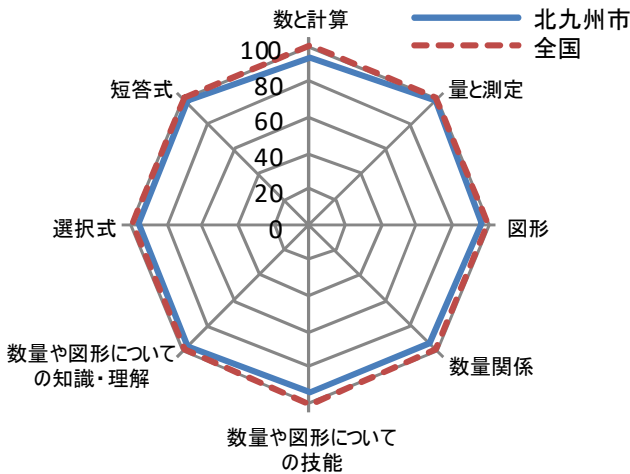
【参考】類題 H26(B12)
北九州市正答率 58.2% (全国60.2%)

話し合いにおける参加者の立場や発言の意図をとらえることについて、改善が見られます。

1 松山さんの学級では、自分たちの言葉の使い方を直すために、立場を決めて話し合うことになりました。次は、そのときの「話し合いの様子の一部」です。これをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

- 【さらなる定着を図るための学習活動例】
- 意見や提案など自分の考えを話したり、それらを聞いたりする活動。
 - インタビューなどをして必要な情報を集めたり、それらを発表したりする活動。
 - それぞれの立場から考えを伝えるなどして話し合う活動。

領域・観点・問題形式別平均正答率の状況

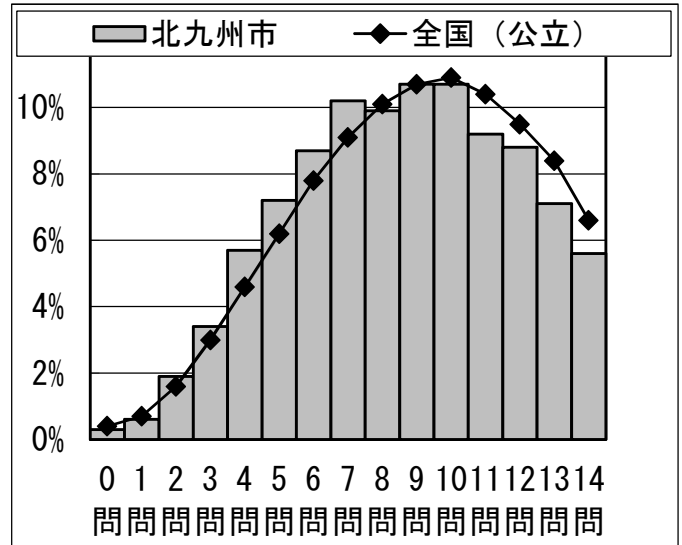


- ◇ 「量と測定」の平均正答率の全国との差は-0.7で、全国平均と同程度だった。 < 昨年度：-4.8 >
- ◆ 「数量関係」の平均正答率の全国との差は-3.6で、全国平均を若干下回った。 < 昨年度：-0.9 >
- ◆ 「数量や図形についての技能」の平均正答率の全国との差は-3.7で、全国平均を若干下回った。 < 昨年度：-0.2 >

正答数分布図

学力の分布は、正答数の多い側に集中した山型である。

平成30年度 小学校算数A 正答分布グラフ(横軸:正答数 縦軸:割合)

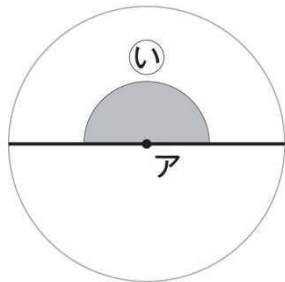


○ 全国は 10問正解の児童の割合が最も多いが、北九州市は 9・10問正解の割合が最も多い状況である。

小学校算数Aで改善が見られた問題

【角の大きさを正しく求める問題】

⑤ (1) 角①の角度は何度ですか。

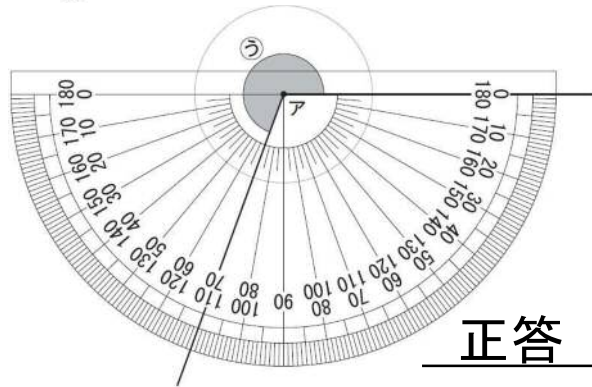


- 0°
- 90°
- 180°
- 270°
- 360°

正答 3

(1)北九州市正答率	94.0%
全国正答率	94.4%
北九州市無解答率	1.0%
全国無解答率	1.1%

(2) 角②の角度は何度ですか。答えを書きましょう。



正答 250°

(2)北九州市正答率	58.2%	北九州市無解答率	1.2%
全国正答率	58.5%	全国無解答率	1.5%

【参考】H27 A4(2)類題 本市正答率 55.1%

直線が180°であることや、180°をこえる角の大きさの測定の仕方についての理解が進んでいます。

【さらなる定着を図るための学習活動例】

○ 角の形と角の大きさを関連付ける活動を設定しましょう。

・90° ・180° ・270°

○ 角の大きさを測定する前に、およそ何度であるかを予想しましょう。

・0° ~ 90° ・90° ~ 180° ・180° ~ 270° ・270° ~ 360°

小学校算数Aで課題があった問題

【小数の除法の意味について理解しているかどうかをみる問題】

② 答えが $12 \div 0.8$ の式で求められる問題を、下の 1 から 4 までの中からすべて選んで、その番号を書きましょう。

- 1 1 m の重さが 12 kg の鉄の棒^{ぼう}があります。
この鉄の棒 0.8 m の重さは何 kg ですか。
- 2 0.8 L で板を 12 m² ぬることができるペンキがあります。
このペンキ 1 L では、板を何 m² ぬることができますか。
- 3 赤いテープの長さは 12 cm です。
白いテープの長さは、赤いテープの長さの 0.8 倍です。
白いテープの長さは何 cm ですか。
- 4 長さが 12 m のリボンを 0.8 m ずつ切っていきます。
0.8 m のリボンは何本できますか。

北九州市正答率	37.7%
全国正答率	39.9%
北九州市無解答率	0.8%
全国無解答率	1.0%

正答 2, 4

解答を「1, 4」とする誤答が多く見られました。小数の乗法・除法の意味についての理解が必要です。

【さらなる定着を図るための学習活動例】

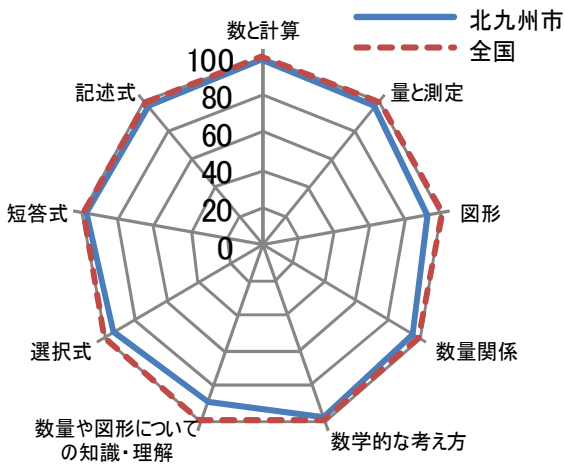
- 「1に当たる大きさを求める際に、除法が用いられること」を理解できるようにすることが大切です。
- 問題文に示された数量について、線分図や数直線、関係図に整理し、「1に当たる大きさ」は何かを説明する活動。
- 第6学年で「比」を学習した後であれば、これらの数量の関係について比を使って整理する活動。

今後の取組の方向性

<基礎的・基本的な内容の確実な定着について>

- 「北九州市学力定着サポートシステム」の「診断問題」を活用し、どの問題に課題があるかを把握しましょう。
「基礎・基本定着問題」「web問題チャレンジシート」等、本市で過去に発行されたプリント等を繰り返し活用し、確実な定着を図ることが大切です。
- その際、公式や用語等の暗記だけにとどまらず、図などに対応させながら用語の意味を理解できるようにすることが大切です。
(例)円周率を求める公式(円周÷直径)の例でいえば、直径の異なる複数の円を示しそれらの「円周」や「直径」はどこか、直径が変わったときに「変わるもの(円周)」と「変わらないもの(円周率)」は何かについて説明する活動を取り入れた授業を行うなど。

領域・観点・問題形式別平均正答率の状況

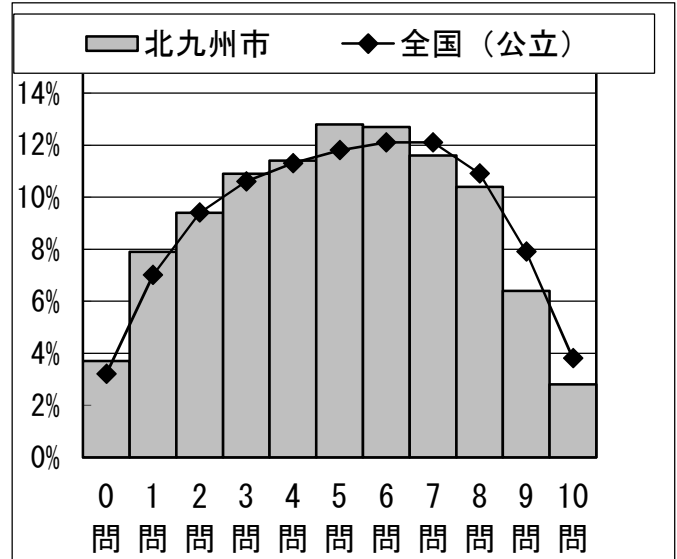


- ◇ 「数と計算」の平均正答率の全国との差は-1.0で、全国平均と同程度だった。 < 昨年度：-1.4 >
- ◆ 「図形」の平均正答率の全国との差は-4.5で、全国平均を若干下回った。 < 昨年度：-1.7 >
- ◆ 「数量や図形についての知識・理解」の平均正答率の全国との差は-8.3で、全国平均を下回った。 < 昨年度：-3.5 >

正答数分布図

学力の分布は、正答数の少ない側によった山型である。

平成30年度 小学校算数B 正答分布グラフ(横軸:正答数 縦軸:割合)



○ 全国は6・7問正解の児童の割合が最も多いが、北九州市は5問正解の割合が最も多い状況である。

小学校算数Bで成果があった問題

【九九の表のきまりについて、示された考えを解釈し、条件を変更した場合について考察する問題】

④ 九九の表の、横に並んでいる数を選び、選んだ数について話し合いました。

	1	2	3	4	5	6	7	8	9
1	1	2	3	4	5	6	7	8	9
2	2	4	6	8	10	12	14	16	18
3	3	6	9	12	15	18	21	24	27
4	4	8	12	16	20	24	28	32	36
5	5	10	15	20	25	30	35	40	45
6	6	12	18	24	30	36	42	48	54
7	7	14	21	28	35	42	49	56	63
8	8	16	24	32	40	48	56	64	72
9	9	18	27	36	45	54	63	72	81

はるな

横に並んでいる3つの数「4, 5, 6」の和を求めると、 $4 + 5 + 6 = 15$ です。15は、「4, 5, 6」の真ん中の数5の3倍になっています。

ひろと

横に並んでいる3つの数「18, 21, 24」の和63は、真ん中の数21の3倍になっています。

はるな

それでは、横に並んでいる数が5つの場合は、どのようになるのかな。

ゆうか

ゆうかさんたちは、横に並んでいる5つの数「6, 12, 18, 24, 30」について調べました。

ゆうか

横に並んでいる5つの数「6, 12, 18, 24, 30」の和を求めると90です。90は18の5倍になっています。

ゆうかさんの話を聞いてはるなさんは、次のように説明し直しました。

【はるなさんの説明】

横に並んでいる5つの数「6, 12, 18, 24, 30」の和90は、真ん中の数18の5倍になっています。

今度は、横に並んでいる数が7つの場合について調べ、【はるなさんの説明】と同じように説明します。

(2) 2の段の、横に並んでいる7つの数「4, 6, 8, 10, 12, 14, 16」について【はるなさんの説明】と同じように説明すると、どのようになりますか。言葉と数を使って書きましょう。

正答例
横に並んでいる7つの数「4, 6, 8, 10, 12, 14, 16」の和70は、真ん中の数10の7倍になっています。

北九州市正答率	60.6%	北九州市無解答率	10.4%
全国正答率	59.5%	全国無解答率	11.3%

例示された説明の仕方を参考に、条件を一部変更した場合について、言葉や数、式を適切に使って説明することができつつあります。

【さらなる定着を図るための学習活動例】

- 幾つかの具体例を調べて共通性を見付ける活動
- 条件を変更しても同じように数量の関係が成り立つのかを考察する活動

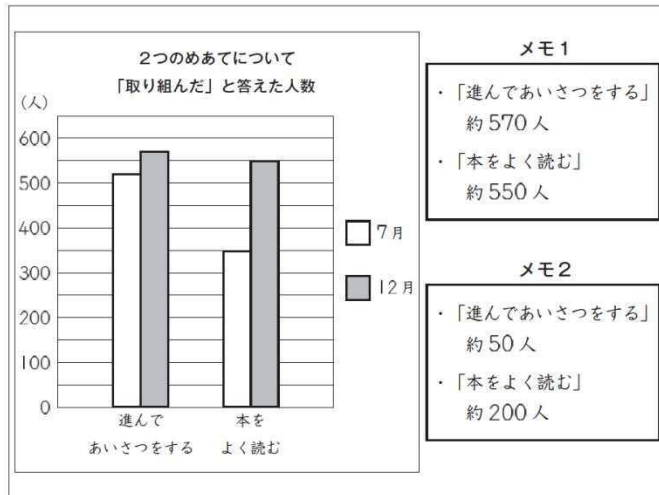
与えられた問題を解くだけでなく、ほかの数量や形、条件等でも、その数量の関係が成り立つのか、なぜその数量の関係が成り立つのかについて考えてみるのが大切です。

小学校算数Bで課題があった問題

【アンケート結果を示した棒グラフと、それについて考察したメモの情報を関連付けて説明する問題】

③

しおりさんたちの学校は、「進んであいさつをする」と「本をよく読む」の2つのめあてに取り組んでいます。
しおりさんたちは、7月と12月に、2つのめあてについて全校児童625人に対してアンケート調査をし、その結果を下のグラフに表しました。
しおりさんは、グラフからわかることを2つのメモに書きました。



えりかさんとまさるさんは、しおりさんが書いたメモについて話し合っています。



メモ1を見ると「進んであいさつをする」のほうが人数が多いです。でも、メモ2を見ると「本をよく読む」のほうが人数が多いですね。



メモ1では、「進んであいさつをする」のほうが人数が多く、メモ2では、「本をよく読む」のほうが人数が多いのは、なぜですか。



メモ1とメモ2は、それぞれ、グラフについてちがうことに着目して書いているからです。

しおりさんが言うように、メモ1とメモ2は、それぞれ、グラフについてちがうことに着目して書かれています。

(1) メモ1とメモ2は、それぞれ、グラフについてどのようなことに着目して書かれていますか。それぞれ着目していることを、言葉や数を使って書きましょう。

正答例

メモ1は、12月の人数に着目して書かれていて、メモ2は、7月の人数と12月の人数の差に着目して書かれています。

北九州市正答率	17.8%	北九州市無解答率	17.7%
全国正答率	20.7%	全国無解答率	18.0%

メモ1の内容についてのみ説明している誤答が多く見られました。問われていることは何かを正しく把握し、必要な情報を収集し、説明することが必要です。

【さらなる定着を図るための学習活動例】

資料を分類整理する学習では、次のような活動を行うことが大切です。

- 日常生活の中で主体的に問題を見出して情報を収集する活動。
- 表やグラフなどに整理して表現する活動。
- 考察した結果から新たな問題を見だし、さらに情報を収集し、表やグラフなどに整理し直して考察する活動。

今後の取組の方向性

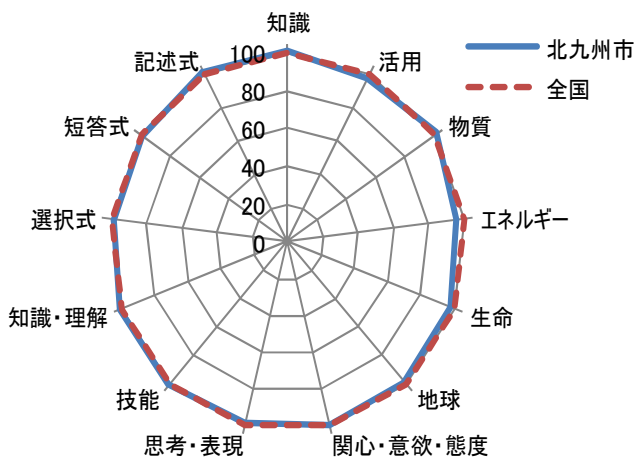
<データの活用について>

- 新学習指導要領では、小学校の新領域として「データの活用」が設けられます。この内容は、中学校でも引き続き、「データの活用」の領域において学習していきます。
- 中学校との学習の円滑な接続を図るためにも、実際に資料を集め、目的を意識して表・グラフを作る活動を充実させ、表やグラフにどんな特徴があるかを理解できるようにすることが大切です。
- 作成後は「目的は何か。」「なぜその表・グラフを選んだか。」「表の項目やグラフの目盛りのとり方は適切か。」等、表やグラフを批判的に考察する活動を取り入れた授業を行いましょう。

<単元末テストの活用について>

- 単元末テストに、思考力・判断力・表現力等を問う問題が掲載されています。テストの問題を解くことができるような力を、授業で意識して育てることが大切です。

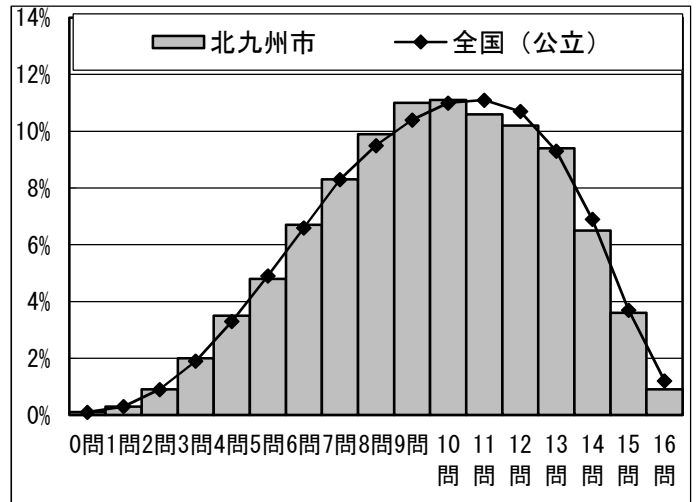
領域・観点・問題形式別平均正答率の状況



- ◇主として「知識」に関する問題の平均正答率の全国との差は+1.0で、全国平均と同程度だった。〈前回：-3.4〉
- ◆「エネルギー」の平均正答率の全国との差は-2.4で、全国平均を若干下回った。〈前回：-3.4〉

正答数分布図

学力の分布は、正答数の少ない側によった山型である。
平成30年度 小学校理科 正答分布グラフ(横軸：正答数 縦軸：割合)



- 全国は 11問正解の割合が最も多いが、北九州市は 10問正解の割合が最も多い状況である。

小学校理科で成果があった問題

【ろ過の適切な操作方法を身に付けているかどうかをみる問題】

4 ゆかりさんは、海で見つけた魚を飼育して観察することにしました。

ゆかりさんは、魚を飼育するために、海水を持ち帰りました。しかし、砂などが混じり、にごっていたため、ろ過することにしました。

ゆかりさん: これでろ過できるね。

まもるさん: これでは正しくろ過できていないよ。ビーカーにたまった海水には、砂が混じっているよ。

北九州市正答率	71.4%	北九州市無解答率	0.4%
全国正答率	71.1%	全国無解答率	0.5%

【参考】類題 H27 3(5)
北九州市正答率 47.5% (全国51.7%)

(1) まもるさんの気づきをもとに、正しく操作し直しているものはどれですか。

1 海水がろうとを満たすまで注ぐようにする。

2 折ったろ紙の最も下の部分にガラス棒を当てて注ぐようにする。

3 折ったときにろうとよりも大きくなるろ紙を使って、折ったろ紙を満たすまで海水を注ぐようにする。

4 折ったろ紙の高さをこえないように海水を注ぐようにする。

正答 4

実験技能の理解（ろ過の操作）器具の操作について改善が図られていると考えられます。

【さらなる定着を図るための学習活動例】

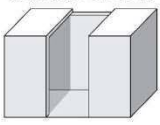
- 器具の操作は、観察、実験で実際に使用することを通して身に付くものです。理科の授業では、児童一人一人に器具を使用する場面を保障しましょう。また、器具の操作には、どのような意味があるのかを理解できるようにすることを意識して観察、実験を行わせることも大切です。

小学校理科で課題があった問題

【太陽の1日の位置の変化と光電池に生じる電流の変化の関係を目的に合ったものづくりに適用できるかどうかをみる問題】

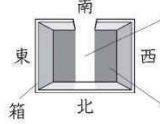
- 3 (4) 午後1時ごろから午後3時ごろだけプロペラが回るようにするには、箱の中で光電池をどのように置けばよいと考えられますか。

光電池を入れる箱



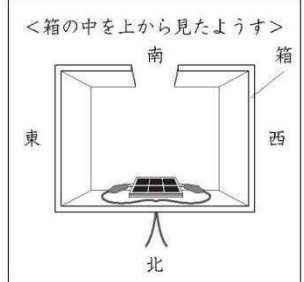
<箱の中を上から見たようす>

正午に箱の中には、右の図のように日光が差しこみます。

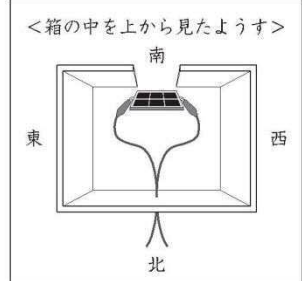


日光があたっているところ
日光があたらないところ

1



2



ひろしさん

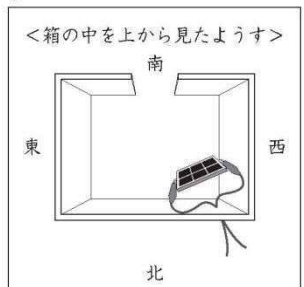
正午だと箱の中に、このように日光が差しこみ、日光があたっているところとあたらないところができるね。

正答 4

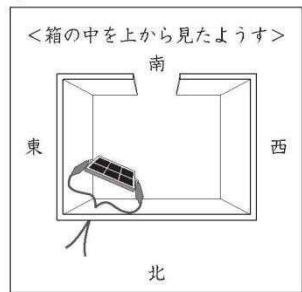
北九州市正答率 37.7%	北九州市無解答率 0.4%
全国正答率 41.9%	全国無解答率 0.6%

【参考】類題 H27 2(5)
北九州市正答率 39.6% (全国44.2%)

3



4



学習を通して獲得した知識をものづくり等へ適用することに課題があると考えられます。

【さらなる定着を図るための学習活動例】

学んだことを基にしたものづくりへの適用ができるようにするには、次の点を意識して授業をしましょう。

- 設定したものづくりの目的に対して必要な知識を明らかにする。
- 知識の適用だけでなく、目的を設定し、計測して制御するという考え方に基いた学習活動を取り入れる。
- 繰り返し試しながら光電池の置き方を制御するといった場の設定や時間の確保を行うようにする。

今後の取組の方向性

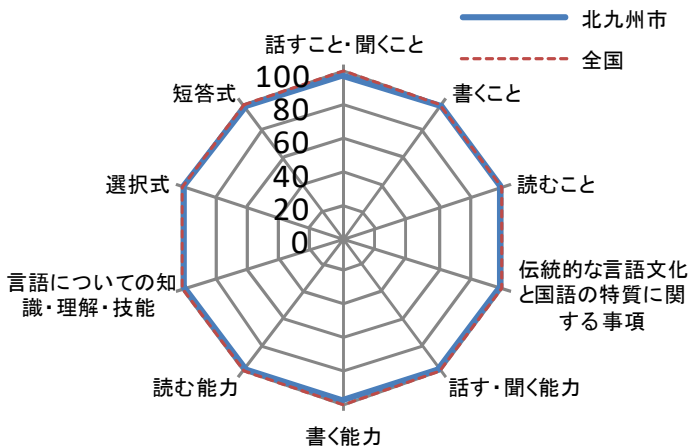
<科学的な言葉や概念を使用して考えたり説明したりする活動の充実について>

- 理科に関する知識・技能は、単に身に付けているだけでなく、観察、実験を中心とした問題解決による学習活動や、実際の自然や日常生活などの場面において発揮されることが重要です。観察、実験の結果を整理し考察する学習活動や、科学的な言葉や概念を使用して考えたり説明したりする活動を意図的・計画的に授業に位置付けるようにしましょう。

<学んだことを基にしたものづくりへの適用について>

- 学んだことを基にしたものづくりへの適用に課題が見られました。ものづくりの授業では、適用しようとする「性質」や「働き」について確認する時間を十分確保するようにしましょう。図や言葉を使って設計図などを作成することを通して、ものづくりで用いた「性質」や「働き」を明らかにすることが大切です。

領域・観点・問題形式別平均正答率の状況

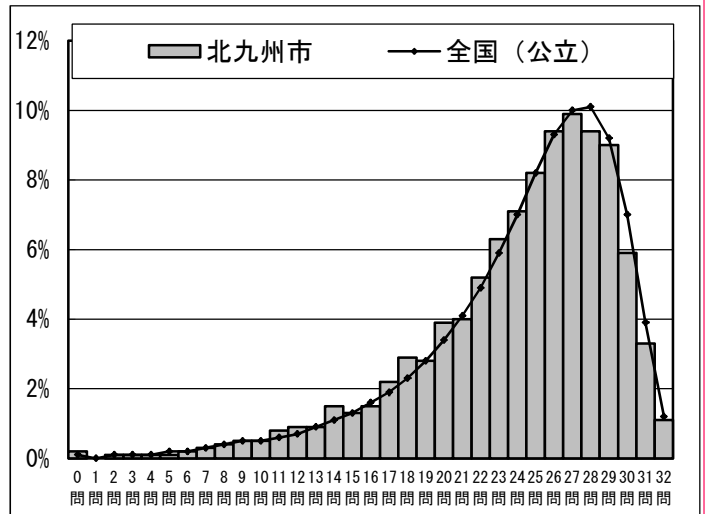


- ◇ 各領域および各観点別の平均正答率の全国との差は、 $-1.2 \sim -0.7$ と、全国平均と同程度だった。
 < 昨年度: $-1.2 \sim -0.4$ >
- ◇ 問題形式別の平均正答率の全国との差は、 $-1.3 \sim -0.9$ と、全国平均と同程度だった。
 < 昨年度: $-1.2 \sim -0.4$ >

正答数分布図

学力の分布は、正答数の多い側に集中した山型である。

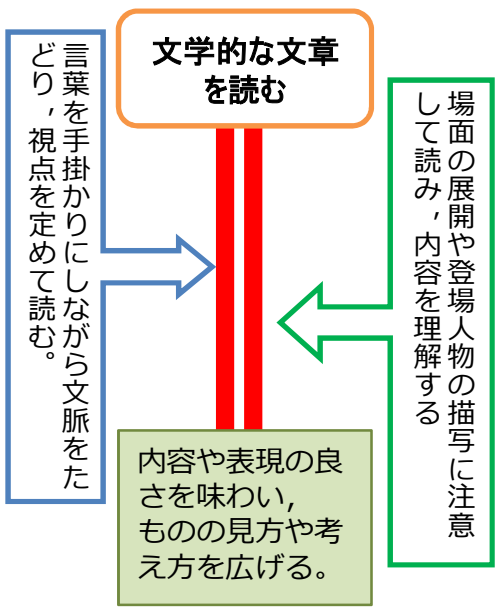
平成30年度 中学校国語A 正答分布グラフ(横軸:正答数 縦軸:割合)



- 全国は 28問正解の生徒の割合が最も多いが、北九州市は 27問正解の割合が最も多い状況である。

中学校国語Aで改善が見られた問題

3 【場面の展開や登場人物の描写に注意して読み、内容を理解しているかどうかをみる問題】



3 次の文章を読んで、あとの問い答えなさい。

「あの女の子はどうして出ないの？」
 「女の子? どこかに女の子がいるのかい?」
 父は保吉の問いの意味さえ、はっきりわからない様子である。
 「ううん、いはしなくても、顔だけ怒から出したじゃないの?」
 「いつさ?」
 「玩具屋の壁へ映した時に。」
 「あの時も女の子なんぞは出やしないさ。」
 「だって顔を出したのが見えたんだもの。」
 「何を言っている?」
 父はなんと思っただか保吉の顔へ手のひらをやった。それから急に保吉にもつけ景気とわかる大声を出した。
 ③「さあ、今度は何を映そう?」
 けれども保吉は耳にもかけず、ヴェネチアの風景をながめつづけた。窓は薄明るい水路の水に静かな聲がけ
 二 ―線部②「さあ、今度は何を映そう?」けれども保吉は耳にもかけず、ヴェネチアの風景をながめつづけた。とありますが、この場面についての説明として最も適切なものを、次の1から4ま
 の中から一つ選びなさい。

- 1 父は保吉に幻灯を映すように促したが、保吉はヴェネチアの静かな風景がとても気に入ったので父の発言に答えずにいる。
- 2 父はヴェネチアの風景の映り具合を気に入ったが、保吉は自分が愛する浅草や銀座の風景の映り具合を気に入っている。
- 3 父は他の画を映し出すことを提案したが、保吉は少女がもう一度幻灯の画に現れるのではないかと考えている。
- 4 父は少女が映っている画が他にもないか探そうとしたが、保吉は少女が再び現れることはないかと考えている。

北九州市正答率	81.9%
全国正答率	82.8%
北九州市無解答率	0.3%
全国無解答率	0.2%

【参考】H27 A6
 北九州市正答率 66.9%

【さらなる定着を図るための学習活動例】
 <登場人物の相互関係を捉える工夫>
 ○ 文章の中の時間的・空間的な場面の展開や登場人物の心情や行動、情景描写に注意して読み、登場人物の言動の意味について考える活動を行きましょう。

正答
 3

場面の展開や登場人物の描写に注意して読み、作品の内容を理解する力が身に付いてきています。

中学校国語Aで課題があった問題

8

【目的に応じて文の成分の順序や照応、構成を考えて適切な文を書くことができるかどうかをみる問題】

正答例

私はスポーツ選手の努力する姿に
(心を打たれた。)

誤答例

私はスポーツ選手に(心を打たれた。)
努力していることに私は
スポーツ選手の努力する姿に
(心を打たれた。)

※誰が

誰の何の

どのように
なことに

【問われている力】
○文の成分(主語・述語・修飾語・接続語・独立語)の順序や照応の理解。
○文の構成を考えて書く力。

心を打たれた。

【誤答を生み出した理由】
述語「心を打たれた」に対して主語「誰が」が明記されていない。

四 次の問いに答えなさい。
お、2 「心を打たれた。」を文末に用いた一文を書きなさい。な
「心を打たれた」の主語を明らかにした上で、「誰(何)」の「どのようなこと」に「心をうたれた」のかわかるように書くこと。

【さらなる定着を図るための学習活動例】

- 〈文の構成などについて考えるための指導の工夫〉
- 語順や語の照応によって表現がどのように変わるかについて、様々な文型から考える活動を行いましょう。
- その際、一対一の双方向の立場だけでなく、間接的な立場に立って相手に伝える意識をもたせる指導を行うことが大切です。

H27小国 A 2 文中における主語を捉えることに課題を受けての出題

北九州市正答率	17.3%	北九州市無解答率	7.6%
全国正答率	22.3%	全国無解答率	6.5%

文の中における主語を捉えたり、主語を明示しながら適切に表現したりすることに課題があります。

今後の取組の方向性

＜小中連携の視点に立った体系的・継続的な指導について＞

- 文の構成については、発達段階に応じた力をそれぞれ身に付ける(文の中における主語と述語との関係に注意する。修飾・被修飾の関係など文の構成を知る。文章の中での語句と語句との関係を理解する。中学校では小学校での学習を生かして、文の成分の順序や照応、文の構成などについて考える)ことが大切です。学習に入る前に定着度の確認などを行い、体系的・継続的な指導を図りましょう。

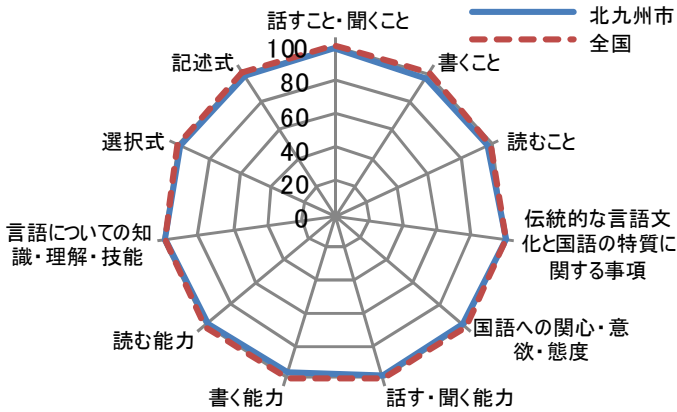
＜実際の読書活動や言語活動において適切に言葉を使い分ける力の育成について＞

- 一対一の双方向の対話だけでなく、第三者(多数)に対して(もしくは第三者の立場に立って)話す・書く場面を設定し、他者意識をもたせて文を構成する場面を作りましょう。作った文を周りと共有し、それぞれの立場から意見を出し合い、相手に分かりやすく伝えることを意識づけていきましょう。

＜北九州市学力定着サポートシステムの活用について＞

- 思考力等の育成においては、「何を理解しているか(知識・技能の習得)」が重要です。「北九州市 学力定着サポートシステム」の「基礎・基本定着問題」「診断問題」を活用し、言語に関する知識・理解・技能の定着を図りましょう。

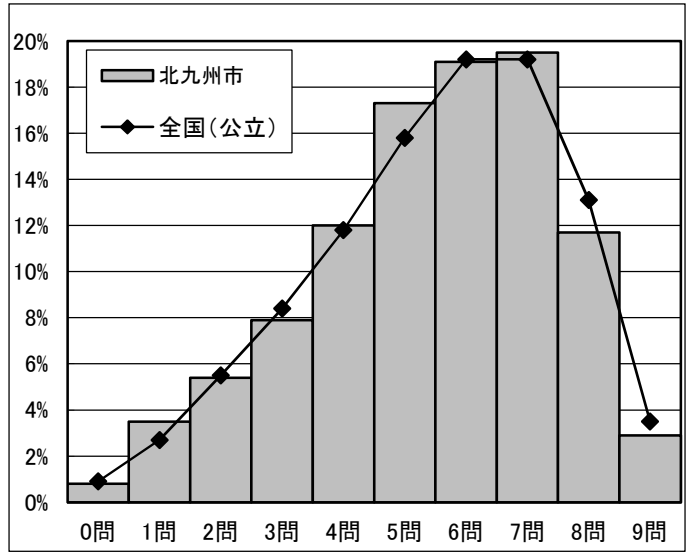
領域・観点・問題形式別平均正答率の状況



- ◇ 問題形式別の平均正答率の全国との差は、-1.0 ~ -0.9 と、全国平均と同程度である。〈昨年度：-3.0 ~ -1.0〉
- ◇ 「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」及び「言語についての知識・理解・技能」の領域・観点における平均正答率の全国との差は、-0.2と、全国平均と同程度である。〈昨年度-7.1〉

正答数分布図

学力の分布は、正答数の多い側に集中した山型である。
平成30年度 中学校国語B 正答分布グラフ(横軸:正答数 縦軸:割合)



○ 北九州市は、7問正解の割合が最も多く、全国は6問と7問の正解の割合が最も多い状況である。

中学校国語Bで改善が見られた問題

2 【質問の意図を捉えることができるかどうかをみる問題】

- 1 南さんは事前にもっていた疑問を解決するために質問している。
2 大野さんは山川さんの説明の誤りを指摘するために質問している。
3 南さんは事前にもっていた疑問を解決するために質問している。
4 大野さんは山川さんの説明の矛盾を指摘するために質問している。
- 1 「発表・質問の場面の一部」の南さんと大野さんの質問の意図として最も最適なものを、次の1〜4までの中から一つ選びなさい。

正答

2

各教科における言語活動の更なる充実を目指す。各教科における言語活動の更なる充実を目指す。

【事前にもっていた疑問】

【説明を聞いて生じた疑問を解決するための質問】

【事前にもっていた疑問を解決するための質問】

北九州市正答率 85.8% 北九州市無解答率 0.2%
全国正答率 86.8% 全国無解答率 0.2%

【参考】
H26類題 A1二 本市正答率 76.0% (全国80.3%)
H27類題 A8一 本市正答率 81.7% (全国84.6%)

話の内容と自分の考えを比較し、必要に応じて不明な部分や更に聞きたい事柄について質問する力が身に付いてきています。

【さらなる定着を図るための学習活動例】

話の展開に注意して聞き、必要に応じて質問したり、聞き手とのやりとりを踏まえながら、話の全体として伝えたいことを明確にして話したりする活動を行いましょう。

中学校国語Bで課題があった問題

1 【目的に応じて文章を読み、内容を整理して書くことができるかどうかをみる問題】

1 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

【広辞苑 第6版】(平成20年・岩波書店)
てんちーむよう「天地無用」荷物、寶
【日本国語大辞典 第2版】(平成12〜14)
てんちーむよう「天地無用」荷物、寶
いけないという意味の注意。

中略

接続詞「また」があるので、もう一つ理由があることがわかる。

①「無用」と言う言葉が使われなくなり、「してはならない」と言う意味での使い方が分かっていくことになる。

②「天地無用」には「逆にする」に当たることが省略されていることに気付かないと、「してはならないこと」以外の意味で捉えてしまう。

三 この文章を読んで、「天地無用」という言葉を見たときに誤った意味で解釈してしまう人がいる理由を書きなさい。なお、読み返して文章を直したいときは、二本線で消したり行間に書き加えたりしてもかまいません。

「天地無用」は、「天地を逆にすること無用」のように、傍線部に当たった内容が省略された言い方になっているのです。字面だけを見ても、そのことは分かりませんから、本来の意味で読み取るのは難しいでしょう。

北九州市正答率	11.5%	北九州市無解答率	7.2%
全国正答率	13.3%	全国無解答率	7.0%

文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見などを読み分け文章の構成や展開を捉えて内容を理解する力が付いてきています。

理由となる部分を探す。
(今回は理由が二つあるので、両方に着眼しないといけません)

複数ある場合があるので、段落の始めの指示語や接続語などに着目して読む。

文章中の言葉を使って自分の考えを書く。

正答例
現在は、「してはならないこと」という意味を表す際に、「無用」以外の言葉を使うことが多く、「無用」という言葉に「してはならないこと」という意味があることが分かっていくようになっていくのかもしれないから。また、「天地無用」は「逆にすること」に当たることが省略された言い方になっていて、それに気付かないと「無用」を他の意味で捉えかねないから。

【さらなる定着を図るための学習活動例】

<適切な情報を得て、考えをまとめるための活動の充実>

本や文章などから、適切な情報を得て、考えをまとめることができるように、次のような活動を行いましょう。

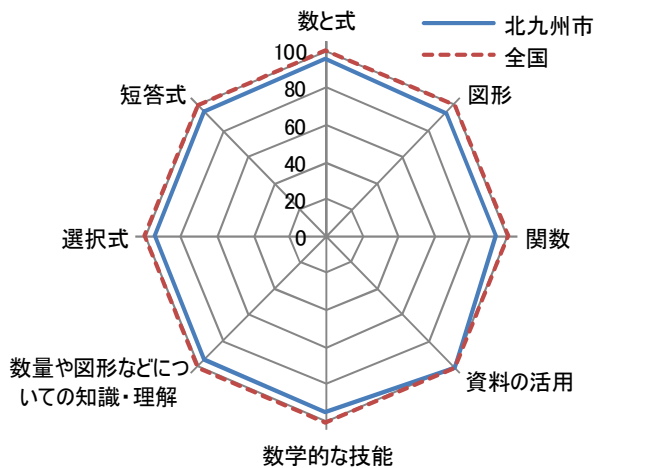
- 目的に応じて文章を読み、論の展開を適切に捉えながら、文章の中心的な部分と付加的な部分を読み分け、内容を整理する活動
- 論の展開を捉えて必要な内容を選択し、整理して書く活動

今後の取組の方向性

<文章の構成や展開の工夫とその効果を考える力、目的に応じて文章の内容を適切に捉えて書く力の育成について>

- 文章の中の中心的な部分、または付加的な部分や事実と意見などを読み分け(図表がある場合は、図表がどの部分と関連しているのかを捉えて)、内容を的確に捉える力を高めていきましょう。
- 事実や事柄、意見や心情が相手に効果的に伝わるように、分かりやすい説明や具体例を加えたり、表現する内容にふさわしい語句を選んで描写を工夫したりして書くことを意識させましょう。

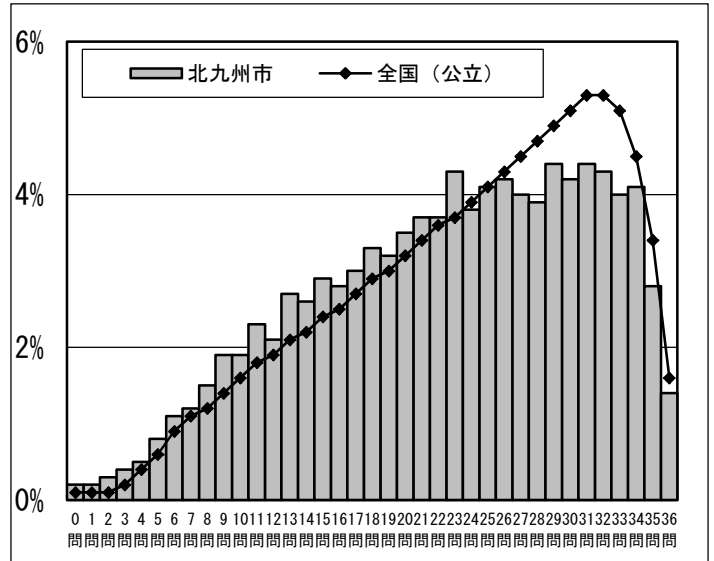
領域・観点・問題形式別平均正答率の状況



- ◇ 「資料の活用」の領域の平均正答率の全国との差は0.0で、全国平均と同等だった。 < 昨年度：-1.6 >
- ◆ 「数学的な技能」の観点の平均正答率の全国との差は-3.5で、全国平均を若干下回った。 < 昨年度：-3.3 >
- ◆ 「短答式」の平均正答率の全国との差は-3.9で、全国平均を若干下回った。 < 昨年度：-2.8 >

正答数分布図

学力の分布は、正答数の少ない側によった山型である。
平成30年度 中学校数学A 正答分布グラフ(横軸:正答数 縦軸:割合)

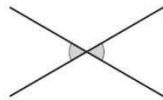


○ 全国は31・32問正解の生徒の割合が最も多いが、北九州市は29問正解の割合が最も多い状況である。

中学校数学Aで改善が見られた問題

【証明の必要性と意味を理解しているかどうかをみる問題】

8 ある学級で、「対頂角は等しい」ことの証明について、次の①、②を比べて考えています。



①

下の図のように、対頂角 $\angle a$ と $\angle b$ について、



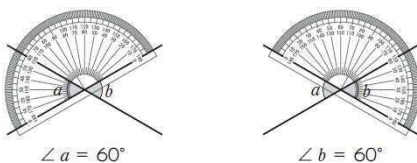
$$\angle a + \angle c = 180^\circ \text{ から, } \angle a = 180^\circ - \angle c$$

$$\angle b + \angle c = 180^\circ \text{ から, } \angle b = 180^\circ - \angle c$$

よって、 $\angle a = \angle b$
したがって、対頂角は等しい。

②

下の図のように、対頂角 $\angle a$ と $\angle b$ について、 $\angle a$ と $\angle b$ の大きさをそれぞれ測ると、



また、2つの直線の交わる角度を変えて、同じように測ると、
 $\angle a = 40^\circ$ のとき $\angle b = 40^\circ$
 $\angle a = 90^\circ$ のとき $\angle b = 90^\circ$
 $\angle a = 110^\circ$ のとき $\angle b = 110^\circ$
よって、 $\angle a = \angle b$
したがって、対頂角は等しい。

①、②がそれぞれ「対頂角は等しい」ことを証明できているかどうかについて、正しく述べたものを、下のアからエまでの中から1つ選びなさい。

- ア ①も②も証明できている。
- イ ①は証明できているが、②は証明できていない。
- ウ ①は証明できていないが、②は証明できている。
- エ ①も②も証明できていない。

正答 イ

北九州市正答率 38.1% 北九州市無解答率 0.8%
全国正答率 45.5% 全国無解答率 0.6%

【参考】H27 8 同一問題
北九州市正答率 24.0% (全国25.8%)

演繹的に考えることによって導かれた事柄は常に成り立つことの理解が進んでいます。

【さらなる定着を図るための学習活動例】

具体的な値を用いて帰納的に考える活動を通じて、「すべての場合に必ず成り立つといえるか」ということを考えさせることが大切です。

そこから演繹的に考えることのよさを実感させ、証明の必要性と意味を理解することにつなげていく活動を設定しましょう。

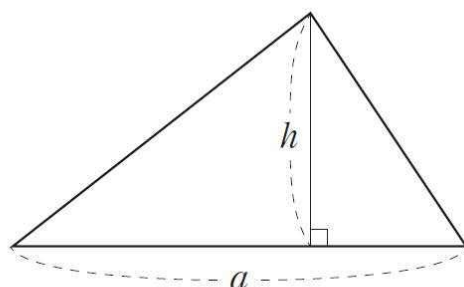
中学校数学Aで課題があった問題

【等式を目的に応じて変形できるかどうかをみる問題】

2

(4) 右の図で、底辺の長さ a 、高さ h の三角形の面積 S は、次のように表されます。

$$S = \frac{1}{2} ah$$



底辺の長さを求めるために、この式を、 a について解きなさい。

北九州市正答率	39.3%	北九州市無解答率	17.9%
全国正答率	48.2%	全国無解答率	15.3%

正答 $(a=) \frac{2S}{h}$

解答類型では $\frac{1}{2} sh$ のように、単純に a と s を入れかえたと考えられる誤答や、 $\frac{s}{h}$ のように文字にだけ着目して変形したと考えられる誤答が見られました。これは、与えられた式の意味を読みとることや、等式の性質を理解することが定着できていないと考えられます。

【さらなる定着を図るための学習活動例】

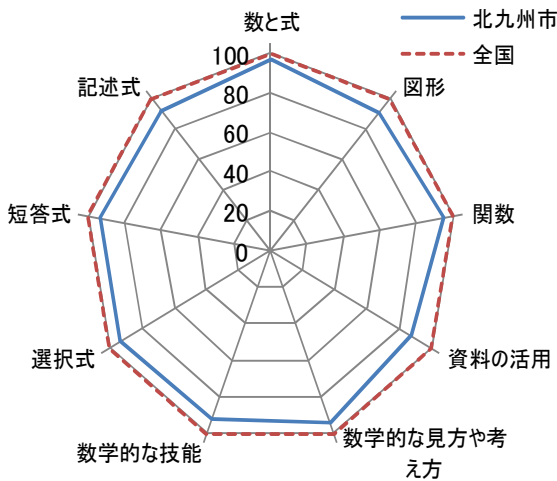
具体的な事象の中にある数量の関係に着目させ、それを文字を用いて式に表現したり式の意味を読み取ったりする能力を養うとともに、等式の性質を用いた等式の変形を形式的に行うだけでなく、この問題のように三角形の面積を求める公式を底辺の長さについての式に変形するなど、具体的な場面で目的に応じて式を変形することに重点をおき、式を利用することのよさを実感できるようにすることが大切です。

今後の取組の方向性

<数量の関係や法則などを式に表現したり式の意味を読み取ったりする能力について>

- 数量の関係を文字式を用いて表現することだけでなく、表現された文字式がどのような関係を表しているかを考えて説明させる場面を設定しましょう。
- 2つ以上の文字を含む等式の変形では、式を変形する目的を明確にして、分配法則や等式の性質などの既習事項を根拠にすることを意識させるようにしましょう。

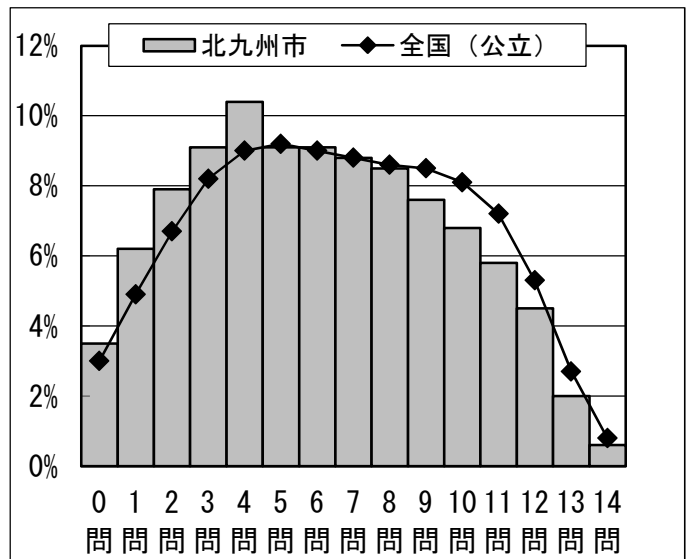
領域・観点・問題形式別平均正答率の状況



- ◇「数と式」の領域の平均正答率の全国との差は -1.5 で、全国平均と同程度だった。
 < 昨年度 : -4.1 >
- ◆「数学的な技能」の観点の平均正答率の全国との差は -4.3 で、全国平均を若干下回った。< 昨年度 : -6.7 >
- ◆「選択式」の平均正答率の全国との差は -4.0 で、全国平均を若干下回った。< 昨年度 : -0.8 >

正答数分布図

学力の分布は、正答数の少ない側に集中した山型である。
 平成30年度 中学校数学B 正答分布グラフ(横軸:正答数 縦軸:割合)

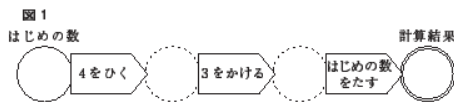


○ 全国は5問正解の生徒の割合が最も多いが、北九州市は4問正解の割合が最も多い状況である。

中学校数学Bで成果があった問題

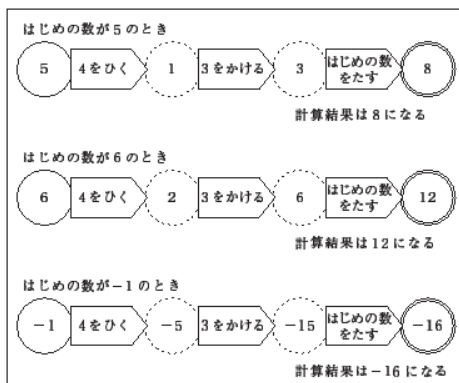
【計算の順番を入れ替えたものを選択し、その計算結果が何の倍数になるかを求める問題】

② 次の図1のように、はじめの数として○に整数を入れて計算し、計算結果を求めます。



海斗さんは、はじめの数として○にいろいろな整数を入れて計算しています。例えば、はじめの数が5、6、-1のときは、それぞれ下のような計算になります。

計算の例



(3) 海斗さんは、5ページの図1の「4をひく」、「3をかける」、「はじめの数をたす」の順番を入れ替えたとき、計算結果がどうなるかを考えています。次の図2のように「4をひく」、「はじめの数をたす」、「3をかける」の順番にすると、計算結果は6の倍数になることがわかりました。

図2



あなたも計算の順番を入れ替えてみて、その計算結果が何の倍数になるかを調べ、次のようにまとめましょう。

上の ① の順番にすると、計算結果は ② の倍数になる。

上の ① には、計算の順番をどのように入れ替えるかを、下のア、イの中から1つ選びなさい。また、そのときの計算結果は何の倍数になりますか。
 ② に当てはまる2以上の整数を書きなさい。ア、イのどちらを選んでもかまいません。

ア 「3をかける」、「4をひく」、「はじめの数をたす」

イ 「はじめの数をたす」、「3をかける」、「4をひく」

正答 アを選択して、4、2のいずれかを解答している
 イを選択して、2と解答している

北九州市正答率 67.4% 北九州市無解答率 0.8%
 全国正答率 68.3% 全国無解答率 1.1%

条件が変わったときの計算結果を数学的に表現することの理解が進んでいます。

【さらなる定着を図るための学習活動例】

帰納的に調べることで成り立つと予想される事柄を見だし、それを演繹的に推論することで、成り立つ事柄を数学的に表現できるようにすることが大切です。

授業では、すでに解決した問題に関連付けて理解して、説明する話し合い活動や、「まとめ」で分かったことをノートに書く活動を設定しましょう。

中学校数学Bで課題があった問題

【S社の団体料金が通常料金の何%引きになっているかを求める式を書く問題】

- 5 里奈さんは、バスツアーを利用して旅行することにしました。そこで、S社とT社のパンフレットから、次のような表にまとめました。

里奈さんが作った表

	S社	T社
プラン名	史跡巡りプラン	史跡巡りプラン
通常料金	1人 3500円	1人 3200円
団体料金	1人 2940円	通常料金の10%引き
団体料金の利用可能人数	8人以上	10人以上

次の(1)、(2)の各問いに答えなさい。

- (1) 里奈さんが作った表から、S社の場合、団体料金は通常料金の560円引きであることがわかります。この560円は通常料金の何%にあたるかを求める式を書きなさい。ただし、実際に何%にあたるかを求める必要はありません。

北九州市正答率 11.2% 北九州市無解答率 25.7%
 全国正答率 16.0% 全国無解答率 24.1%

正答 $560/3500 \times 100$

解答類型では、 $560/3500$ という誤答が多く見られました。これは通常料金の3500円を基準量、値引き額の560円を比較量として、割合を求めるための式を書くことはできたが、百分率で表現することができていないと考えられます。

【さらなる定着を図るための学習活動例】

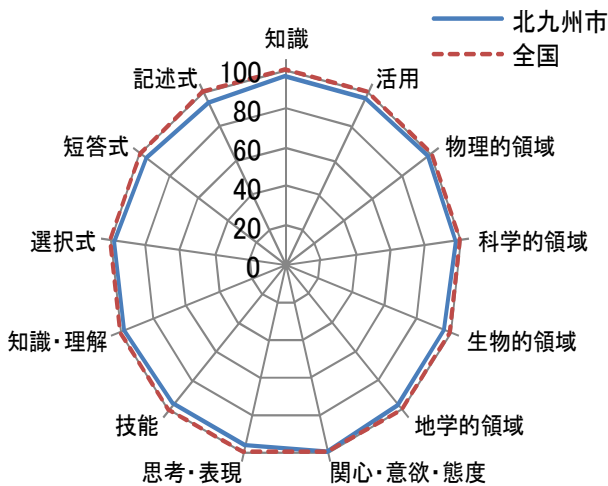
小学5年生で、1単位当たりの割合が0.75のときの百分率が75%であることを学習しています。中学1年生の方程式では、3500円が100%であるとき、560円をx%として、比例式を活用することで、百分率と意味と比例式の有用性を実感することができると思います。

今後の取組の方向性

<式の意味やよさを実感するための話し合い活動と書く活動について>

- 方程式等を活用して問題を解決する技能を高めるとともに、授業では話し合い活動を通して式の意味やよさを実感できる工夫をしましょう。話し合い活動の前の書く活動を通して自分の考えを持ち、話し合ったことを「記録」「整理」して、思考を深めるために、「まとめ」「振り返り」による書く活動を行いましょう。
- 定期考査においても、式の意味やよさを説明するなど、思考力・判断力・表現力等を問う問題を出題しましょう。

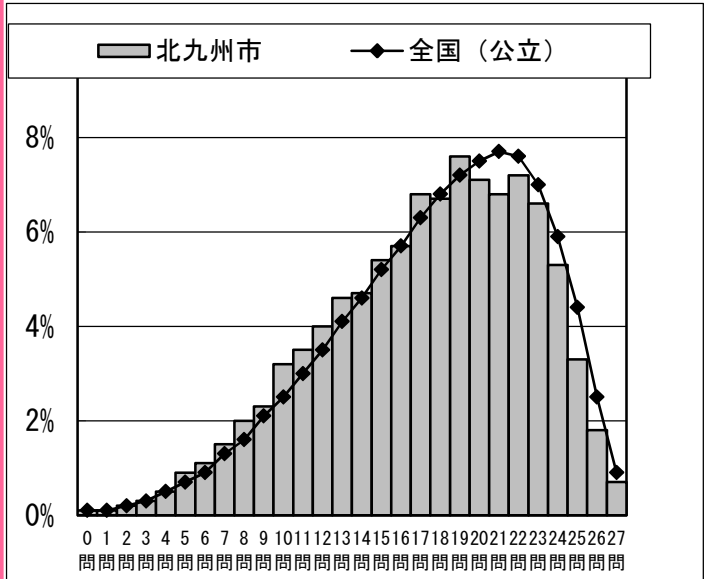
領域・観点・問題形式別平均正答率の状況



- ◇ 「物理的領域」の平均正答率の全国との差は-1.5で、全国平均と同程度だった。 < 前回：-3.3 >
- ◇ 「自然事象についての知識・理解」の平均正答率の全国との差は-2.0で、全国平均と同程度だった。 < 前回：-2.7 >
- ◆ 「記述式」の平均正答率の全国との差は-3.0で、全国平均を若干下回った。 < 前回：-3.3 >

正答数分布図

学力の分布は、正答数の多い側に集中した山型である。
平成30年度 中学校理科 正答分布グラフ(横軸:正答数 縦軸:割合)



- 全国は21問正解の生徒の割合が最も多いが、北九州市は19問正解の割合が最も多い状況である。

中学校理科で改善が見られた問題

6 【オームの法則を使って、抵抗の値を求めることができるかどうかをみる問題】

黒板の続き

【結果】

表1 豆電球





電圧 (V)	0.0	1.5	3.0
電流 (A)	0.00	0.42	0.60
電力 (W)	0.00	0.63	1.80
点灯の様子	点灯 しない	暗い	明るい
			

表2 豆電球型のLED

電圧 (V)	0.0	1.5	3.0
電流 (A)	0.00	0.07	0.10
電力 (W)	0.00	0.08	0.30
点灯の様子	点灯 しない	明るい	非常に 明るい
			

適切な電流の値を読み取った上で、オームの法則を使って豆電球の抵抗の大きさを求めます。

**正答 電流:0.60A
抵抗:5Ω**

(2) 豆電球に3.0Vの電圧を加えたときの回路に流れる電流を、表1から求めなさい。
また、このときの豆電球の抵抗の大きさは何Ωですか。

北九州市正答率	51.9%	北九州市無解答率	14.3%
全国正答率	51.9%	全国無解答率	14.6%

【参考】H27類題 5(1)
北九州市正答率 54.4% (全国59.6%)

前回調査と比較し、オームの法則を使って抵抗の大きさを求めることに改善が見られます。

【さらなる定着を図るための学習活動例】

観察・実験の結果を整理して、表やグラフに表し、必要なデータを読み取ったり、規則性を見いだしたりする活動を繰り返し設定しましょう。

中学校理科で課題があった問題

4 【条件制御の知識・技能を活用して、実験を計画する際に、「変えない条件」を指摘することができるかをみる問題】

レポート

課題

ガスバーナーの空気の量を変えて、炎の色と金網につくスス（炭素）の量を調べよう。

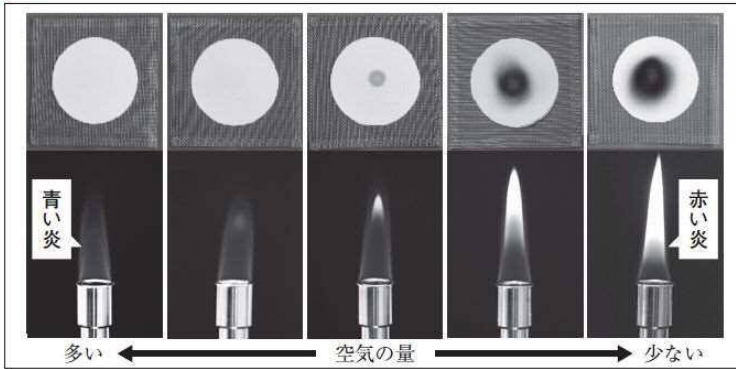
【実験】

表1のように、変える条件と変えない条件を決めて、炎の色と金網につくススの量を調べる。

表1

変える条件	空気の量
変えない条件	ガスの量, <input type="text" value="X"/> ,

【結果】



課題解決や実験の目的に正対した「変えない条件」を考えます。

正答例
金網の位置 など

(2) 表1の に適する変えない条件がいくつかあります。変えない条件を1つ書きなさい。

北九州市正答率	41.8%	北九州市無解答率	16.5%
全国正答率	44.1%	全国無解答率	15.5%

実験の目的に応じた条件を指摘し、条件制御の知識・技能を活用することに課題が見られます。

【さらなる定着を図るための学習活動例】

＜課題を解決するための実験を計画する学習場面を授業に取り入れる＞

- 実験を計画する際には、自然の事物・現象に含まれる要因を洗い出し、それぞれの要因を変える条件と変えない条件に整理して、適切に条件を制御することが大切です。

今後の取組の方向性

＜理科の学習と日常生活や社会とのつながりについて＞

- 今回の調査では、理科の学習が科学技術に応用されている例(テレプロンプター、発熱パック、緊急地震速報)や日常生活において知識・技能を活用する問題(アサリの塩出し、刺激に対する反応、LEDと豆電球)が多く出題されています。理科の学習内容と科学技術、日常生活や社会とのつながりを意識した授業改善が求められています。

＜考察の改善、新たな疑問の設定について＞

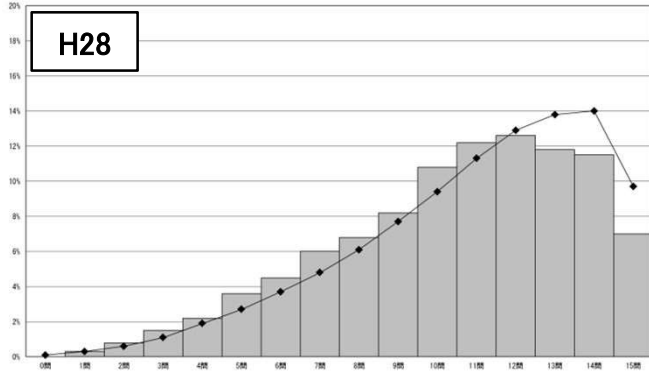
- 「考察の改善」や「新たな疑問」の設定について問う問題が増えています。日常の授業においては、見通しをもった観察・実験を行い、探究の過程を振り返る活動を取り入れていきましょう。

(5) 正答数分布グラフの経年比較 ①小学校国語科

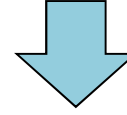
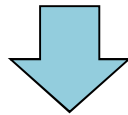
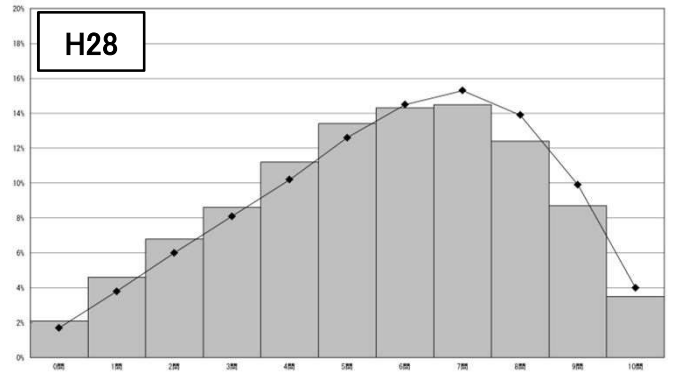
北九州市立小学校
全国（公立）

小学校国語では、低位層が減少し、高位層が増加している。分布図も全国平均に近づいている。

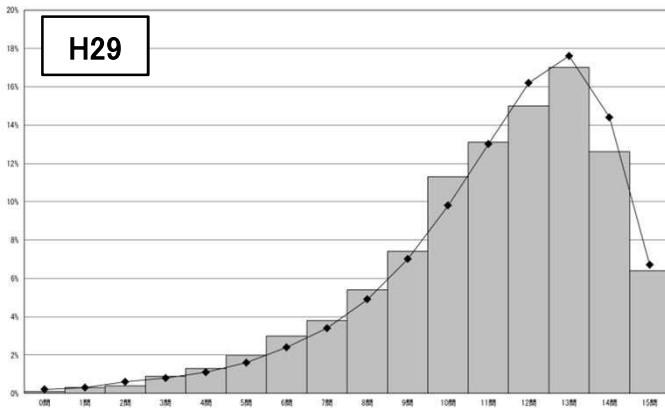
小国A



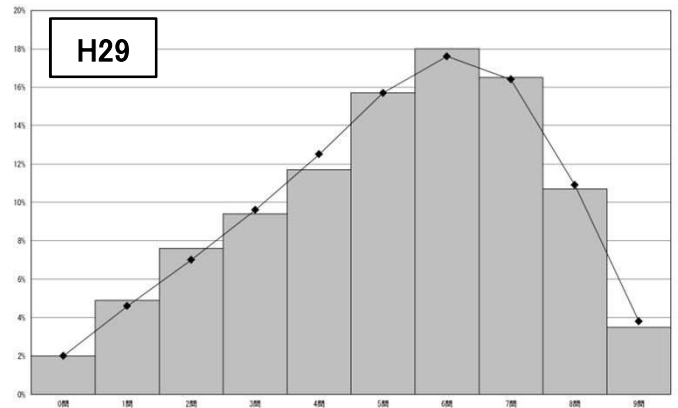
小国B



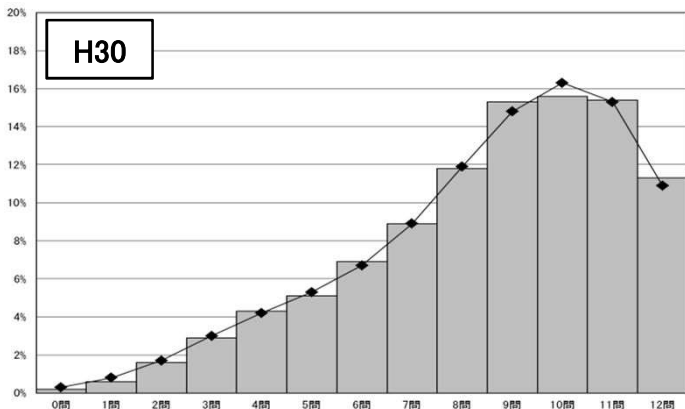
H29



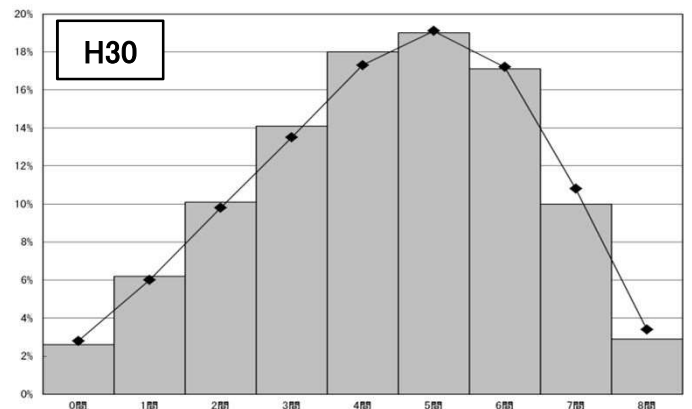
H29



H30

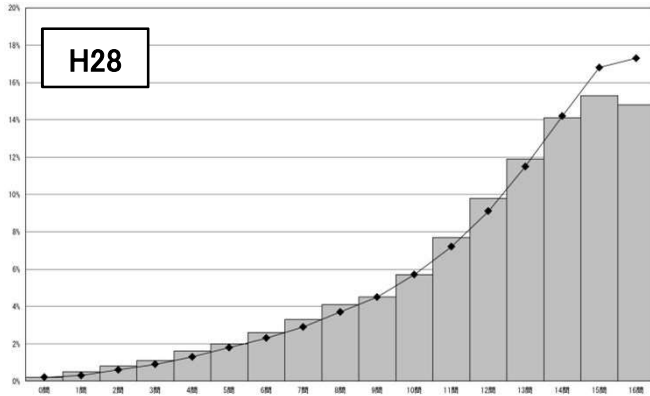


H30

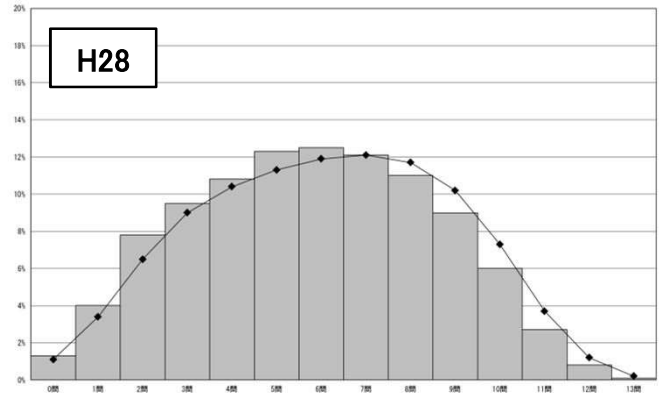


小学校算数では、低・中位層が全国平均に比べて多い。

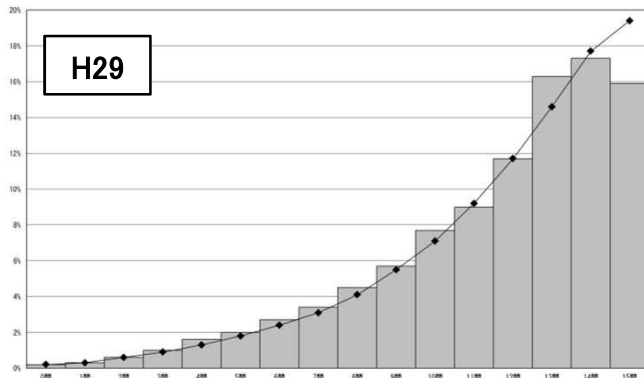
小算A



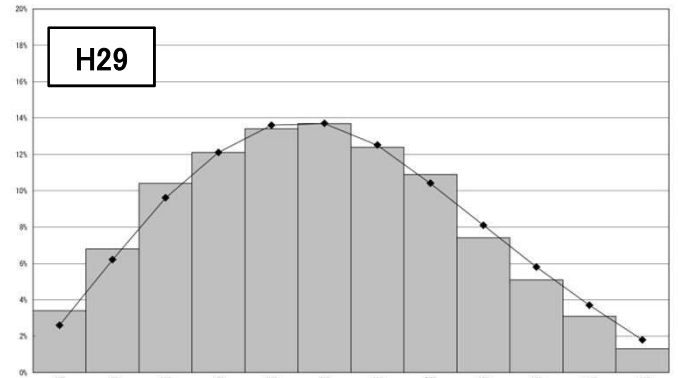
小算B



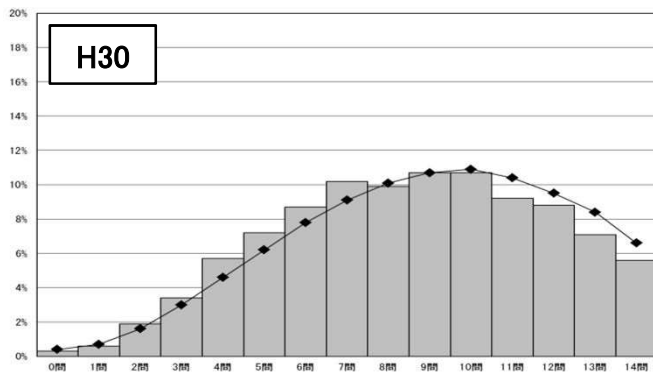
H29



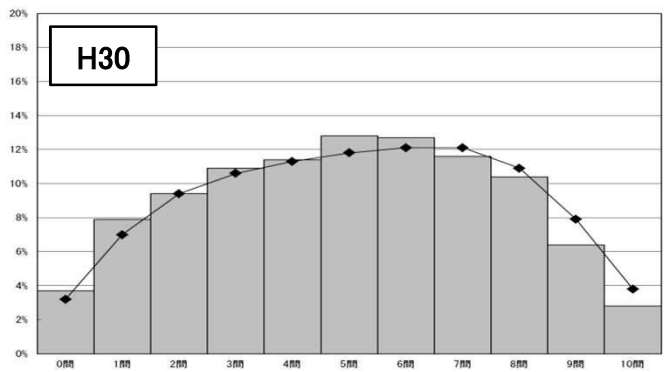
H29



H30



H30



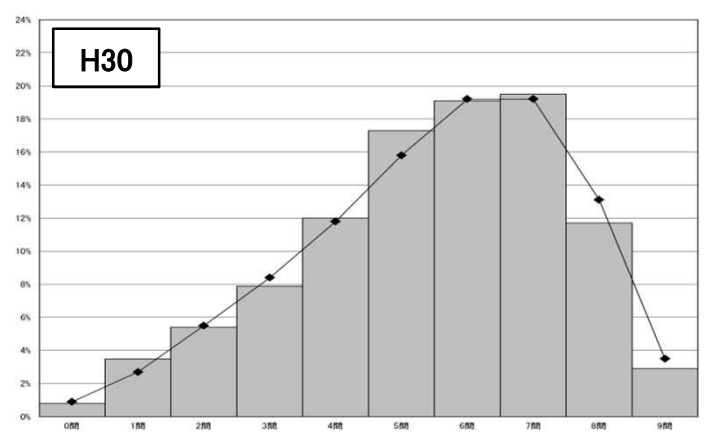
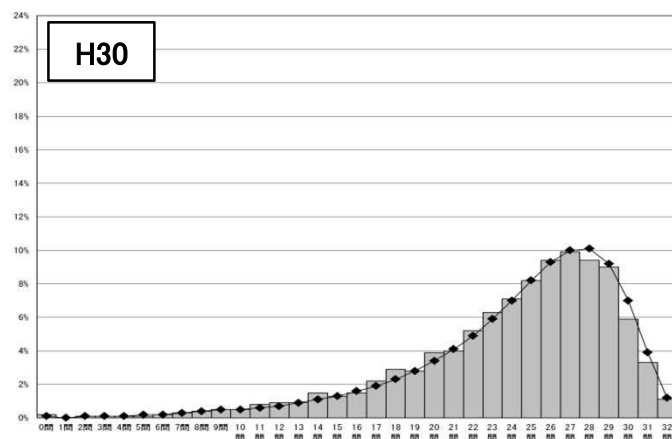
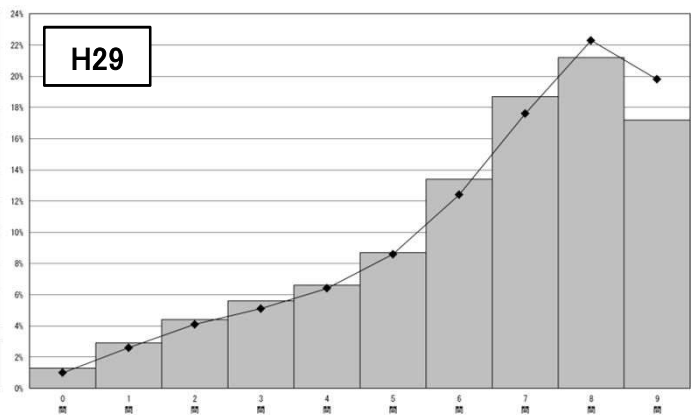
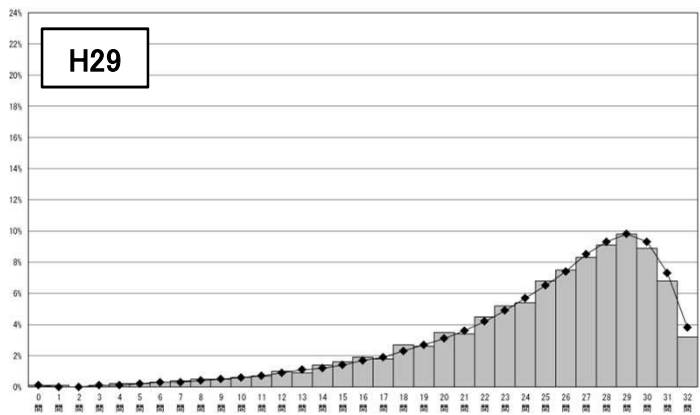
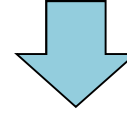
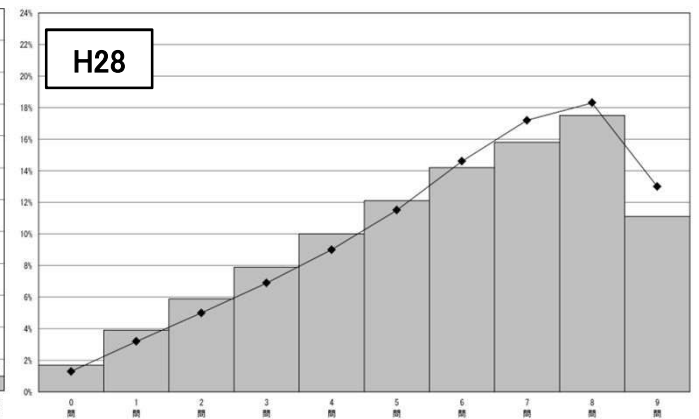
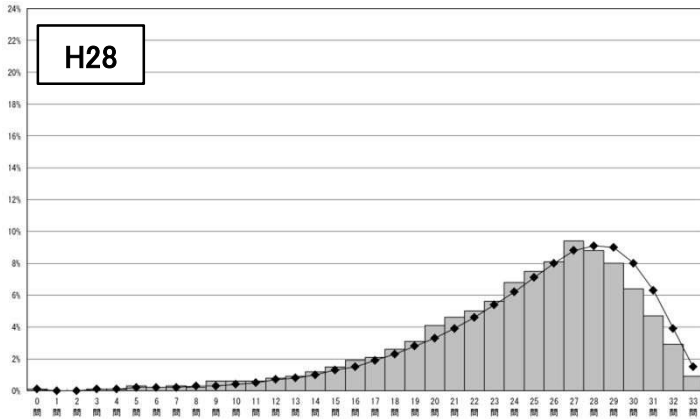
③中学校国語科

北九州市立中学校
 全国（公立）

中学校国語では、低位層が減少し、高位層が増加している。分布図も全国平均に近づいている。

中国A

中国B



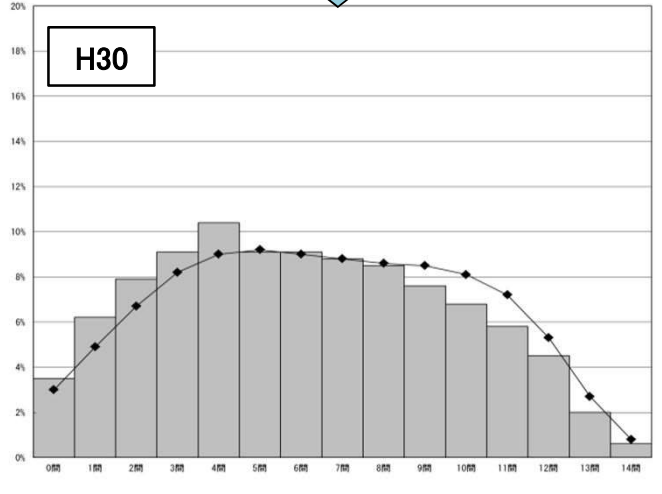
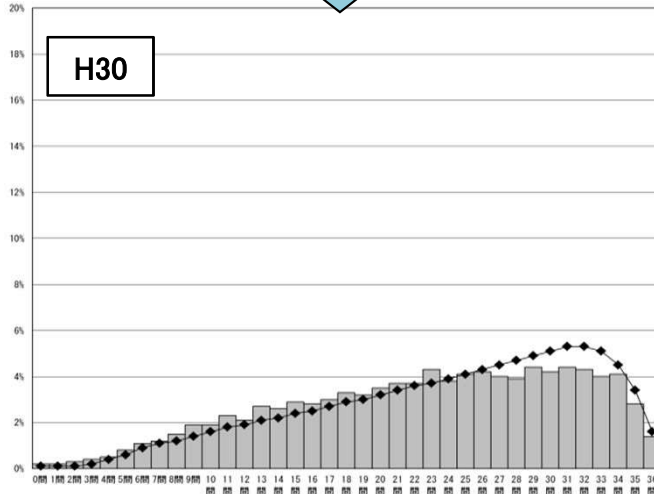
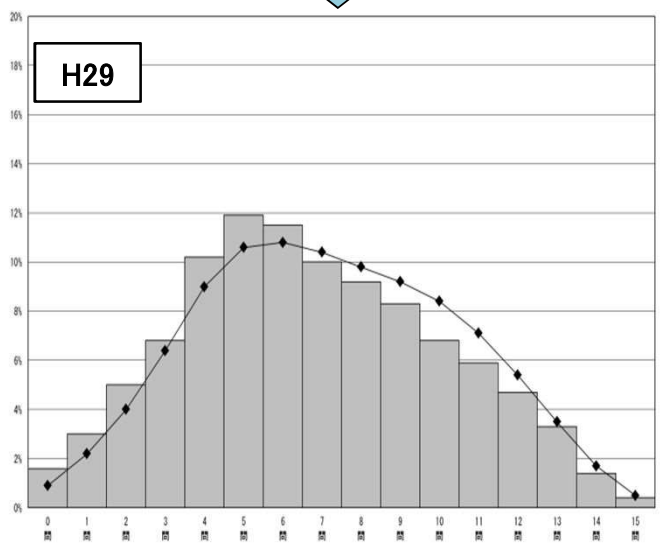
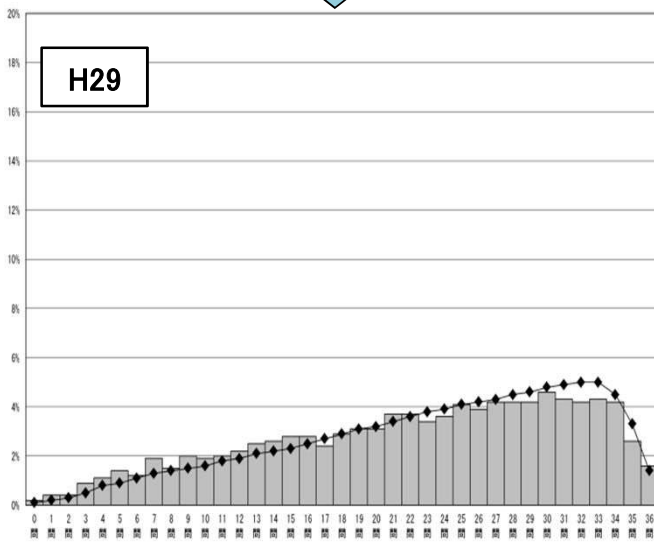
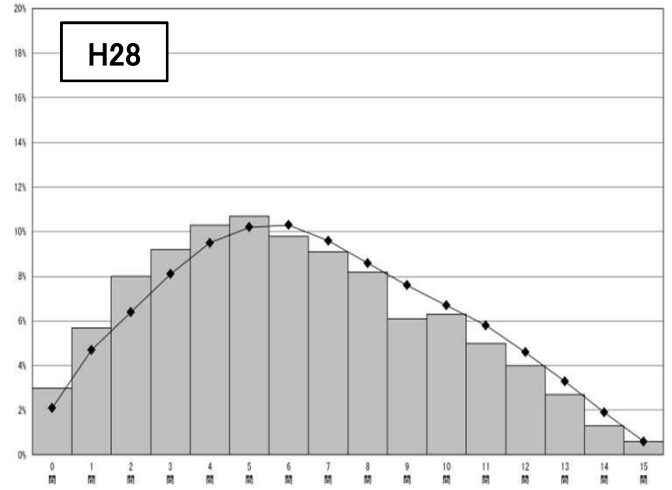
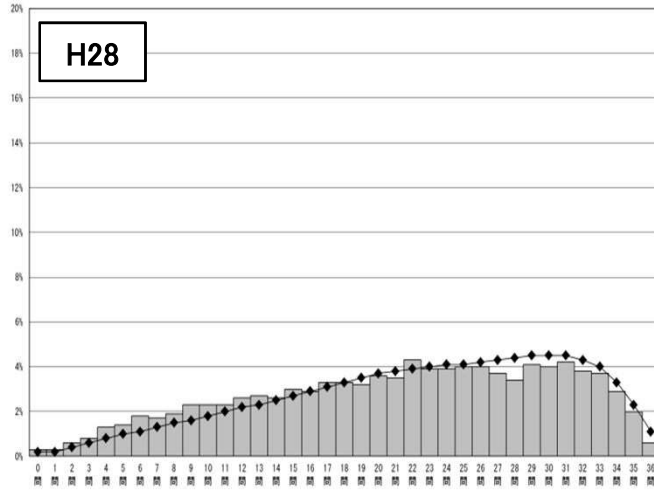
④中学校数学科

北九州市立中学校
 全国（公立）

中学校数学では、低・中位層が全国平均に比べて多い。

中数A

中数B

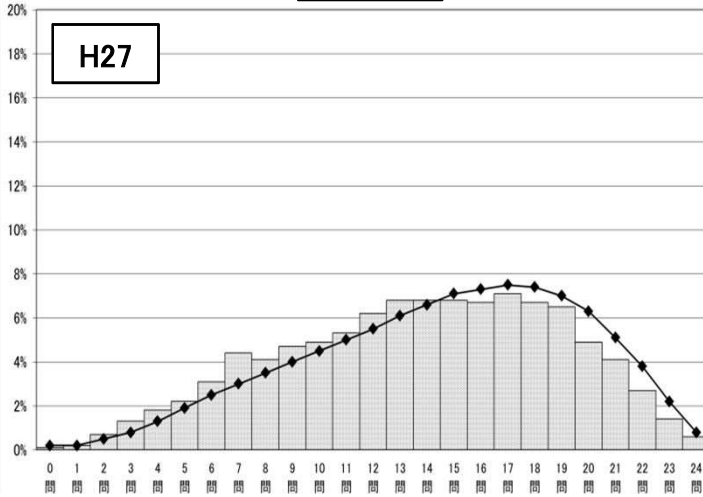


⑤小・中学校理科

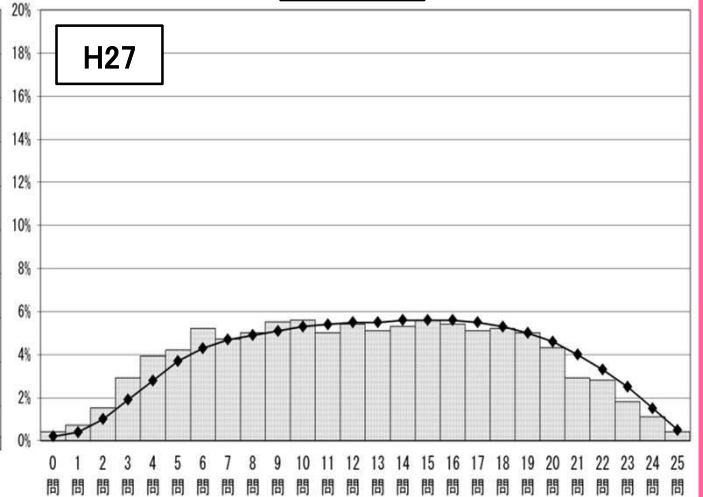
北九州市立小・中学校
 全国（公立）

理科では、小学校・中学校ともに、低位層が減少し、高位層が増加している。分布図も全国平均に近づいている。

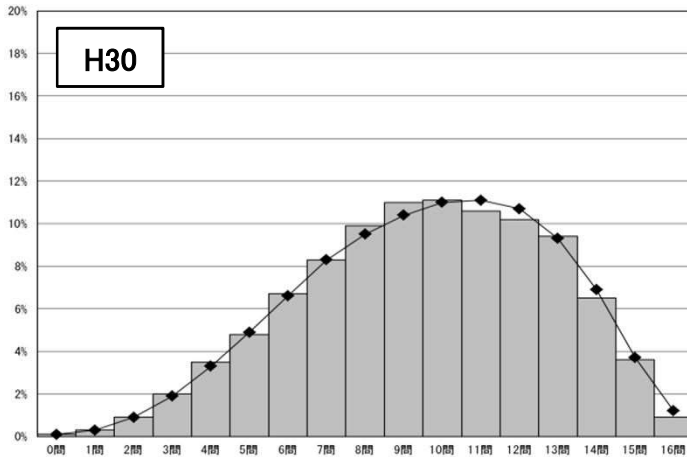
小理



中理



H30



H30

